

平成 30 年 11 月市長定例記者会見 記録

平成 30 年 11 月 27 日(火)

午前 9 時～午前 9 時 20 分

発表案件

1. 平成 30 年度佐渡市一般会計補正予算（第 5 号）について

12 月定例市議会に佐渡市一般会計補正予算第 5 号を上程いたします。今回の一般会計の補正予算の規模でございますが、7 億 5 千 240 万 9 千円を追加し、予算総額は 469 億 6 千 394 万 1 千円となります。概要を申し上げますと、

1 つ目の小学校空調設備整備事業については、近年の猛暑による熱中症対策として国の補正予算により新たに創設された臨時特例交付金を活用し、各小学校の普通教室に空調設備を整備する経費に 6 億 5 千 874 万円を計上するものです。

2 つ目は、工事発注時期の平準化に係る債務負担行為の設定についてです。建設業者の経営の効率化と雇用の安定を目的にしまして、工事量の少ない 4 月から 6 月期に対応するため、平成 31 年度実施予定の単独工事費等の一部について前倒しをして年度内に発注できるよう債務負担行為の設定を行うものです。

3 つ目、農業一般経費の平成 30 年異常気象被害等復旧支援資金保証料補助金についてでございます。平成 30 年における豪雪、暴風、猛暑、渇水、台風等の自然災害による農畜産物の被害に対して、農業者が損失額及び復旧に要する資金を借り受ける際に発生します保証料について、市が 5 年間補助を行うものです。今年度分は 5 万円を計上し、翌年度以降の分については債務負担行為の設定を行うものでございます。

その他の経費につきましては、9 月補正予算編成後の事由による緊急性等、必要な経費について計上させていただく予定です。

2. 「佐渡トキマラソン 2019」エントリー開始について

2010 年に佐渡初のフルマラソン大会としてスタートした「佐渡トキマラソン」を 2019 年 4 月 21 日の日曜日に開催いたします。エントリーは 11 月 20 日から開始しており、募集期間は 3 月 22 日までとなっています。

大会は、全種目おんでこドームをスタート・フィニッシュで行われ、昨年プロランニングコーチの金哲彦さんに監修していただいたコースで、フルマラソンは東海岸線・トキの森公園・加茂湖畔を走り、ハーフマラソンもトキの森公園を走る景観に富んだコースでございます。制限時間は、フルマラソンは 7 時間、ハーフマラソンは 3 時間半で、参加者の皆様が楽しみながら余裕をもって走れるように設定させていただいております。

今回のゲストは、箱根駅伝で往路 5 区山の上り 4 年連続区間賞、新・山の神と称された柏原竜二さんをお迎えして、大会前日の 20 日午前中は陸上競技場で中高生を対象とした陸上教室、午後はおんでこドーム駐車場にてランニング教室を行います。また、おんでこドームで開催する前夜祭では、

郷土芸能の披露や柏原竜二さんのトークショーを行います。

大会当日は、多くの市民ボランティアの皆様からご協力をいただき、選手受付、コースの誘導、給水所の運営、マッサージや佐渡産コシヒカリのおにぎり・味噌汁の無料サービスなど、おもてなしの心で選手をお迎えし、大会を盛り上げたいと考えております。この佐渡トキマラソン 2019 に多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3. 水道管凍結防止に関する周知について

これからの季節、外気温がマイナス4℃以下になると、水道設備の凍結や破裂が発生しやすくなります。水道設備の凍結や破裂が発生しますと、日常生活に支障をきたすだけでなく、修理費用もかかり大きな負担となってしまいます。

今年1月に発生しました給水管破損の漏水による断水事故が再び起きないためにも、敷地内の水道管の設備管理について事前の防寒対策や止水方法など、今一度市民の皆様からご確認をお願いいたします。なお、12月10日発行の市報さどに凍結防止策や保温材等の取り付け方、水道の元栓の閉め方などについて、画像を取り交えて掲載いたしますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。また、万一の漏水対処のため、今一度ご家庭の水道メーターの場所をご確認くださいませようをお願いいたします。漏水による断水事故を防ぐため、市民の皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。

事前質問

なし

質疑応答

1. 平成30年度佐渡市一般会計補正予算（第5号）について

記者：

昨日の議員全員協議会で議論になった佐和田の児童館の減額についてどのようになっているのか。

市長：

減額計上は補正予算の中に入れ込んで、減額予算のみをまずは提出することになります。

記者：

では、それを含めたこの予算額、補正の額ということですか。

市長：

トータルの額はそうです。

記者：

農業一般経費に係る部分なんですけども、今年の異常気象による農畜産物の被害額、農畜産物以外での被害額がもしまとまっていれば教えていただきたい。被害規模が例年と比べてどれ

ほどのものなのかというところについてもなんですけれども。

産業観光部長：

被害規模につきましては、お米、その他果樹等々含めまして約9億5千万円ということでございます。被害規模、詳細な種別のもというのは今データが手元にございませんが、例年と比べるというところでは今年度多かったというふうには思いますけども、詳細な比較というところはしてございません。

記者：

過去最大規模とかそういうふうなのは言えないですか。

産業観光部長：

ちょっと今過去最大という言い方ができるのかどうかというところは、確実な資料がございませんので。申し訳ございません。

記者：

関連で、塩害が多かったって結構現場の方から聞いたんですけども、特徴的な塩害被害というのはあったりしますか。

産業観光部長：

特にその塩害ということではなくて、やはりその台風が北上してきますと温かい、もちろん塩を含んだということにもなるかと思うんですが、果樹もそうですし稲もそうですし、それによりまして成長が妨げられたり、品質が落ちたりという傾向はございます。

記者：

工事発注時期の平準化事業なんですけど、これは毎回やっていらっしゃるのでしょうか。あと、なぜ平準化に取り組まれた背景についてご説明願いたいんですけど。

市長：

この平準化のための債務負担行為は一昨年も行っております。これは新年度予算、当初予算でやりますと4月に入ってから諸々の作業をした後の入札・発注って形になるので、どうしても早くても6月7月からの工事開始になる。4月5月の気候的にも一番工事の効率が高い時期になかなか発注までいかない部分もございまして、12月にこの形で翌年度の前倒しをさせていただくことで、4月5月にすぐ工事に着手できるというところ、これは年間通じて工事期間、工事量を平均化しようということでございますし、逆に秋以降冬場にかけて天候に左右されやすいところも出てきますので、その辺も含め年間ならしながらしっかり発注できるようにということで、これは建設業界の皆様とも相談した上でやらせていただいております。昨年は計上していません。それは昨年7月の豪雨災害の復旧関連の工事発注がすごい多かったもので、去年はそちらに専念させていただいたということです。

2. 「佐渡トキマラソン 2019」エントリー開始について

なし

3. 水道管凍結防止に関する周知について

記者：

広報に掲載ということですがけれども、全戸配布などはしないんですか。

市長：

市報さどに載せますので、イコール全戸配布になります。

記者：

空き家にも市報さどって配布されるんでしょうか。

市長：

空き家には入らないです。

記者：

空き家の被害もちょっと占めてるということで、その辺の周知ってのはどういった形で・・・。
定期的にお盆とか年末とかに戻るような世帯にはどのような周知をされているんでしょうか。

市長：

空き家でもこちらに帰って来ていないときは、水道を役所のほうに連絡して止める場合もあり、
ちょっと様々なパターンがあるんで担当のほうから説明させます。

建設部長：

今年の1月のことを受けまして、今年の盆に空き家と帰省される方、こちらのほうには個別にチラシを夏場に配布させていただきました。この時期には、開栓閉栓する帰省者に対しての注意喚起のチラシを配布させていただいております。

記者：

それは家のポストとか郵便受けとかにということですか。

建設部長：

はい。ポスティングさせていただいております。

記者：

その空き家なんですけど、漏水をまだ確認できてないっていうようなところはまだ何軒かあるんですか。

上下水道課長：

空き家でお盆とかに帰ってくるまで閉めきってあるような家庭はございます。お盆に帰って来たときに開栓の依頼がありまして、開栓をしたときにメーターが回ったというようなものもありましたので、そういうところについては、また閉めて個人が開けられるような形をとって、漏れていまずので確認をしてくださというチラシをポストに入れて対応したということです。何軒という話はちょっとわかりませんが、今年の夏帰ってこなかったというような家庭があるとすれば、そういう家庭がゼロではないとは思いますが。

記者：

まだ全部は調査できてはいないってことですか。

上下水道課長：

市のほうで調査はしようがないので、あくまでも給水管ということですので、個人のほうで確認をしていただくことしかないと思いますし、問い合わせがあった場合についてはそのように対応はしたいと思っております。

記者：

夏までに検査を終えた部分で何軒の漏水があって補助とか入れていくくらいの修繕に金額がかかったのかというデータが欲しいんですけど。後でいいですよ。

市長：

後でデータを出させていただきます。

記者：

関連して、今年の1月は全国的に水道設備の弱い市町村だという名前を売ってしまったわけだけど、こういう前もって書面で注意喚起するだけではなくて、例えば低温注意報が出るとか、そういう場合への対応はどういうことを考えてますか。

市長：

天気予報等々をにらみながら、随時市民メール等々あと防災ラジオも含めてこれからもこまめに喚起は行う予定ですし、既に市民メール等においても11月に入ってからこのような注意喚起のメールとかも既に発信しておりますし、その辺については天候状況を見ながら、寒波がきそうな前段階でしっかり様々な形で周知はしたいと思っております。

記者：

関連なんですけれども、水道事業の法改正が今話題になってるんですけども、民営化とか。その点について佐渡市としてはどういう考え方で臨まれるんですか。

市長：

法改正の部分は見守って考えなければいけないと思うんですけども、佐渡市の場合は今企業会計になってやっておりますして、一昨年でしたか、簡易水道のほうも全部水道事業に組み込む形になって計画を組み直してスタートしているという形でございますので、基本的には公営の企業会計でやっていくということを考えております。